

理 科 3 年（化学・生物・物理）

教科の目標

- 電解質水溶液や酸、アルカリ、中和に関する実験を行い、原子やイオンのモデルと関連付けて理解させる。
- 化学電池の基本的なしくみについて水溶液中のイオンの動きで理解し、化学変化における規則性や関連性を見い出せるようにする。
- 身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解させるとともに、生物の多様性と進化、生命の連続性についての認識を高める。
- 力や物体の運動について実験・観察を行い、運動とエネルギーの見方や考え方を養う。
- 力学的エネルギーを日常生活と関連づけながら、エネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解する。

学習計画

1学期（週 2時間）			2学期（週 2時間）			3学期（週 2時間）		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	水溶液とイオン	9	17	遺伝の規則性と遺伝子 生物の多様性と進化 中間考査(17日、18日) 物体の運動	1	35	自然環境の調査と保全 科学技術と人間
	2			36				
	3			37				
	4							
5	5	酸・アルカリとイオン 化学変化と電池	10	21	力のはたらき方	2	38	入試対策問題演習 学年末考査(24日～26日)
	6			22			39	
	7			23			40	
	8			24		41		
9		25		42	3	43	3年間のまとめ	
6	10	期末考査(10日～12日) 生物の成長と生殖	11	26		エネルギーと仕事 期末考査(12日～14日)		44
	11			27				45
	12			28				
	13			29				
7	14	遺伝の規則性と遺伝子	12	30	自然の中の生物			
	15			31				
	16			32				
				33	自然環境の調査と保全			

評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	定期テスト 小テスト 授業プリント 課題		定期テスト 小テスト 授業プリント 課題		定期テスト 小テスト 授業プリント ワーク・ノート等提出 課題	

学習の仕方と評価のポイント

- ・毎時間、意欲的に取り組み、学んだことをプリントに書き込む。興味のある内容などもメモを取る。
- ・自分の考えを相手に伝えようとする。また、様々な考えや知識を活用して新たな課題や疑問を見出そうとする。
- ・プリントはノートに貼って保管する。提出物は期日までに提出する。
- ・定期テストや小テスト前には授業プリントを見直し、ワークに繰り返し取り組んで学習する。
- ・実験を安全に行うために、安全上の注意をよく話を聞き、指示に従って真剣に取り組む。